

上場会社名 D I C株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4631 URL http://www.dic-global.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 義之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二宮 啓之 TEL 03-3272-4511  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	530,481	△5.5	29,825	10.4	27,351	13.5	18,037	13.5
24年3月期第3四半期	561,449	△4.5	27,008	△15.8	24,088	△15.6	15,890	△4.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 19,587百万円 (764.0%) 24年3月期第3四半期 2,267百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	19.67	—
24年3月期第3四半期	17.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	689,397	138,225	16.7
24年3月期	675,067	124,496	15.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 115,075百万円 24年3月期 101,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	△4.7	38,000	8.7	32,000	3.9	20,000	10.1	21.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は、4 ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、4 ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	919,372,048株	24年3月期	919,372,048株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,352,680株	24年3月期	1,884,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	916,755,255株	24年3月期3Q	917,502,253株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3 ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績 .....	1
(1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況 .....	1
(2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績 .....	1
(3) 2012年度通期業績予想 .....	3
2. 財政状態 .....	4
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 経営成績

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内会社は3月であるため、当第3四半期連結累計期間の状況に関しては、海外子会社は平成24年1～9月、国内会社は平成24年4月～12月について各々記載しています。

## (1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境については、欧州の債務危機を契機とした世界的な景気減速や、アジアの成長鈍化などが国内外の需要環境に影響を及ぼす中、第1四半期においては自動車や電気・電子産業などを中心に緩やかな回復傾向となりましたが、第2四半期以降は、在庫調整などにより電気・電子産業を中心に需要は減少し、厳しい状況が継続しました。

このような事業環境の中、当連結累計期間の売上高は、国内における出荷の減少や対ユーロを中心とした円高の影響などにより、5,305億円と前年同期比5.5%の減収となりました。

営業利益は、減収の影響はあったものの、販売価格の是正や合理化効果などにより、298億円と前年同期比10.4%の増益となりました。

経常利益は、274億円と前年同期比13.5%の増益となりました。

四半期純利益は、180億円と前年同期比13.5%の増益となりました。

	前第3四半期 連結累計期間 実績	当第3四半期 連結累計期間 実績	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	5,614億円	5,305億円	△5.5%	△2.7%
営業利益	270	298	+10.4%	+14.7%
経常利益	241	274	+13.5%	--
四半期純利益	159	180	+13.5%	--

(注) 当第3四半期連結累計期間の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均:平成24年1月～9月)は、79.08円/米ドル(前年同期:80.34円/米ドル)を適用しています。

## (2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位:億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3 四半期 連結累計期間 実績	当第3 四半期 連結累計期間 実績	前年同期比		前第3 四半期 連結累計期間 実績	当第3 四半期 連結累計期間 実績	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
印刷インキ	2,806	2,665	△5.0%	△0.4%	92	114	+24.7%	+35.3%
ニューグラフィック アーツ	989	977	△1.3%	+0.6%	106	104	△1.7%	+0.2%
合成樹脂	1,245	1,172	△5.9%	△5.3%	80	92	+14.0%	+14.3%
ケミカル ソリューション	874	792	△9.4%	△9.0%	18	17	△6.8%	△5.5%
その他	16	11	△27.9%	△21.6%	4	2	△33.2%	△27.6%
消去又は全社	△316	△312	----	----	△30	△31	----	----
計	5,614	5,305	△5.5%	△2.7%	270	298	+10.4%	+14.7%

(注) 平成24年4月1日に組織改編を行ったことに伴い、一部の製品についてセグメント区分を変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間実績については、変更後のセグメントに組み替えて記載しております。

各セグメントの業績は次のとおりです。前年同期比の( )内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、印刷インキセグメントの業績にはセグメント内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[印刷インキ]

・日本 売上高： 672億円 前年同期比 △ 2.4%  
営業利益： 53億円 前年同期比 +72.4%

グラビアインキは、夏場の需要が例年ほどには増大しなかったものの、その後の需要は底堅く推移し、前年同期並となりました。オフセットインキは、従前からの需要減少傾向に加えて、前期後半からの販売価格是正の過程において一部の商権を失ったことなどにより、減収となりました。新聞インキは、需要が弱含みに推移する中、カラーインキの新製品が寄与したことなどにより、前年同期並となりました。以上の結果、全体としては、オフセットインキの減収の影響が大きく、減収となりました。

営業利益は、減収の影響はあったものの、製品統合や合理化、販売価格の是正などに一定の効果が見られたことにより、増益となりました。

・米州・欧州 売上高： 1,611億円 前年同期比 △ 6.6% (△0.4%)  
営業利益： 22億円 前年同期比 △19.9% (△0.0%)

北米・欧州においては、パッケージ用インキが堅調に推移しましたが、雑誌や新聞の発行部数減少などにより、出版インキと新聞インキが減収となったため、前年同期並となりました。中南米においては、主力のパッケージ用インキが底堅く推移し、前年同期並となりました。以上の結果、全体としては、現地通貨ベースでは前年同期並となりましたが、円高の影響により、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、同じく現地通貨ベースでは前年同期並となりましたが、円高の影響により減益となりました。

・アジア・オセアニア 売上高： 447億円 前年同期比 △ 1.1% (+ 5.1%)  
営業利益： 39億円 前年同期比 +13.9% (+20.2%)

中国では、グラビアインキが好調に推移しましたが、景気減速の影響などによりオフセットインキおよび新聞インキが減少したことなどにより、減収となりました。東南アジアでは、オフセットインキの需要が減少しましたが、グラビアインキおよび新聞インキが好調に推移したことなどにより、増収となりました。オセアニアでは、グラビアインキが、パシフィック・インクス社からの事業譲受などにより大幅に伸長したことなどから、増収となりました。インドでは、すべての品目が2桁成長に達するなど好調に推移し、増収となりました。以上の結果、全体としては、現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高の影響により、減収となりました。

営業利益は、同様に円高の影響はあったものの、品目構成の改善などにより、増益となりました。

[ニューグラフィックアーツ]

売上高： 977億円 前年同期比 △1.3% (+0.6%)  
営業利益： 104億円 前年同期比 △1.7% (+0.2%)

有機顔料は、国内のカラーフィルター用や、欧米の塗料・プラスチック用が好調に推移しましたが、欧米のインキ用が苦戦したことにより、前年同期並に留まりました。インクジェットインキはシェア拡大などにより国内外で増収となりましたが、TF T液晶は、液晶テレビ向け出荷の減少により減収となりました。以上の結果、国内の減収を、海外の現地通貨ベースにおける増収でカバーしましたが、全体としては、円高の影響により、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、現地通貨ベースでは前年同期並となりましたが、円高の影響により減益となりました。

## [合成樹脂]

売上高： 1,172億円 前年同期比 △ 5.9% (△ 5.3%)  
 営業利益： 92億円 前年同期比 +14.0% (+14.3%)

国内では、塗料用樹脂やエポキシ樹脂が、第2四半期以降の電気・電子向けを中心とした需要減少などにより、減収となりました。ポリスチレンも、前年に震災に伴う軽量容器向けの特需が発生した影響などから、減収となりました。海外では、主に中国において景気減速の影響により苦戦を強いられたことなどから、減収となりました。

営業利益は、減収の影響があったものの、東南アジア子会社の健闘などにより、増益となりました。

## [ケミカルソリューション]

売上高： 792億円 前年同期比 △9.4% (△9.0%)  
 営業利益： 17億円 前年同期比 △6.8% (△5.5%)

PPSコンパウンドは自動車関連需要が好調に推移したことから、また、工業用粘着テープはスマートフォン向けに出荷が拡大したことから、各々増収となりましたが、電気・電子向けの需要減少の影響を受けた機能性光学材料や、一部の商権を譲渡したパレットが減少したことなどから、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、減益となりました。

## (3) 2012年度通期業績予想

	前期実績	通期予想 ※	増 減 比	
				為替影響排除後
売上高	7,343億円	7,000億円	△4.7%	△2.0%
営業利益	350	380	+8.7%	+11.1%
経常利益	308	320	+3.9%	--
当期純利益	182	200	+10.1%	--

※ 前回予想（平成24年11月7日開示）と変更ありません。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれていません。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第3四半期末の資産の部は前期末と比べて143億円増加し、6,894億円となりました。主として債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したことによるものです。負債の部は、支払債務が減少しましたが、有利子負債の増加等により、前期末比6億円増の5,512億円となりました。また、純資産の部は、四半期純利益の計上等により前期末比137億円増の1,382億円となりました。

## 3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,695	19,675
受取手形及び売掛金	173,599	208,805
商品及び製品	71,295	71,103
仕掛品	8,694	7,822
原材料及び貯蔵品	44,196	43,901
その他	28,692	22,705
貸倒引当金	△7,492	△7,967
流動資産合計	348,679	366,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	80,971	79,254
機械装置及び運搬具（純額）	57,921	55,611
工具、器具及び備品（純額）	7,024	6,688
土地	51,734	51,836
建設仮勘定	5,175	8,479
有形固定資産合計	202,825	201,868
無形固定資産		
のれん	611	828
その他	11,192	12,392
無形固定資産合計	11,803	13,220
投資その他の資産		
投資有価証券	31,532	33,713
その他	81,604	77,535
貸倒引当金	△1,376	△2,983
投資その他の資産合計	111,760	108,265
固定資産合計	326,388	323,353
資産合計	675,067	689,397



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,754	102,125
短期借入金	68,767	81,757
コマーシャル・ペーパー	11,000	27,000
1年内償還予定の社債	5,000	3,000
未払法人税等	5,746	3,527
賞与引当金	2,797	3,488
災害損失引当金	2,250	568
その他	59,981	49,132
流動負債合計	265,295	270,597
固定負債		
社債	36,000	33,000
長期借入金	201,001	201,563
退職給付引当金	29,948	28,030
資産除去債務	933	977
その他	17,394	17,005
固定負債合計	285,276	280,575
負債合計	550,571	551,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,154	91,154
資本剰余金	88,758	88,758
利益剰余金	53,963	67,417
自己株式	△660	△872
株主資本合計	233,215	246,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△422	△215
繰延ヘッジ損益	△568	△740
年金負債調整額	△24,373	△24,822
為替換算調整勘定	△105,941	△105,605
その他の包括利益累計額合計	△131,304	△131,382
少数株主持分	22,585	23,150
純資産合計	124,496	138,225
負債純資産合計	675,067	689,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	561,449	530,481
売上原価	451,180	422,021
売上総利益	110,269	108,460
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	27,668	25,109
貸倒引当金繰入額	266	214
賞与引当金繰入額	1,396	1,735
退職給付費用	2,997	2,868
その他	50,934	48,709
販売費及び一般管理費合計	83,261	78,635
営業利益	27,008	29,825
営業外収益		
受取利息	1,450	1,225
受取配当金	161	190
持分法による投資利益	2,068	1,955
その他	1,849	1,910
営業外収益合計	5,528	5,280
営業外費用		
支払利息	5,846	5,382
為替差損	451	622
その他	2,151	1,750
営業外費用合計	8,448	7,754
経常利益	24,088	27,351
特別利益		
固定資産売却益	921	2,079
災害損失引当金戻入額	—	1,207
負ののれん発生益	—	571
関係会社株式売却益	2,984	—
特別利益合計	3,905	3,857
特別損失		
貸倒引当金繰入額	1,038	1,847
固定資産処分損	867	1,061
リストラ関連退職損失	1,916	78
投資有価証券評価損	1,249	—
特別損失合計	5,070	2,986
税金等調整前四半期純利益	22,923	28,222
法人税等	5,785	8,442
少数株主損益調整前四半期純利益	17,138	19,780
少数株主利益	1,248	1,743
四半期純利益	15,890	18,037

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,138	19,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	123
繰延ヘッジ損益	△172	△172
年金負債調整額	1,064	△449
為替換算調整勘定	△14,785	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△712	274
その他の包括利益合計	△14,871	△193
四半期包括利益	2,267	19,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,359	17,959
少数株主に係る四半期包括利益	908	1,628

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	280,555	73,238	118,738	87,362	559,893	1,556	561,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	25,696	5,747	1	31,444	—	31,444
計	280,555	98,934	124,485	87,363	591,337	1,556	592,893
セグメント利益	9,151	10,624	8,029	1,807	29,611	370	29,981

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,611
「その他」の区分の利益	370
全社費用（注）	△2,973
四半期連結損益計算書の営業利益	27,008

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	266,462	72,177	111,569	79,151	529,359	1,122	530,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	25,517	5,606	1	31,124	—	31,124
計	266,462	97,694	117,175	79,152	560,483	1,122	561,605
セグメント利益	11,414	10,443	9,152	1,684	32,693	247	32,940

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	32,693
「その他」の区分の利益	247
全社費用(注)	△3,115
四半期連結損益計算書の営業利益	29,825

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、機動力の強化、社内における情報共有、トータル・ソリューション・ビジネスの展開を図ることで、「点から面へ」の展開を推進することを目的に、製品本部と営業・技術・生産の各統括本部で構成されたマトリックス型組織による運営を開始しました。これに伴い、一部の製品についてセグメント区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。